

再組換え **E.coli**由来のグルコキナーゼ2

Cat. No. NATE-1939

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

グルコースはグルコキナーゼによってグルコース-6-リン酸にリン酸化されます。この遺伝子は選択的スプライシングされ、膵臓に存在する1つと肝臓に存在する2つの異なる形態の酵素を生成します。この遺伝子の主な機能は、炭水化物代謝を調節することです。組換えヒト膵臓グルコキナーゼはC末端にFLAGタグを持ち、470個のアミノ酸残基を有します。これは、酵素動力学、活性化因子スクリーニング、キナーゼ選択性を含む研究に役立ちます。

別名

EC 2.7.1.2; グルコキナーゼ; グルコキナーゼ (リン酸化); 9001-36-9; GCK; FGQTL3; GK; GLK; HHF3; HK4; HKIV; HXKP; LGLK; MODY2; ヒト膵臓グルコキナーゼ; 膵臓グルコキナーゼ

製品情報

由来

E. coli

形態

凍結乾燥された

EC番号

EC 2.7.1.2

分子量

ca. 32,000

活性

>350 U/mg タンパク質

混入物

(GlcK2 活性 = 100 %) グルコース-6-リン酸脱水素酵素 < 0.01 % ホスホグルコムターゼ < 0.01 % 6-ホスホグルコン酸脱水素酵素 < 0.01 % ヘキソース-6-リン酸異性化酵素 < 0.01 % グルタチオン還元酵素 < 0.01 %

pH安定性

7.0 - 10.0

最適pH

9

熱安定性

60 °Cまでの活動の減少は認められません。

最適温度

70 °C

ミカエリス定数

(60mM Tris-HClバッファー、pH 8.5、30 °Cにて) グルコース 0.1 mM ATP 0.05 mM

単位定義

1単位の活性は、30 °Cで1分あたり1 μmolのグルコース6-リン酸を形成するグルコキナーゼ2 (GlcK2) の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法

-20°Cで少なくとも1年間安定しています